



令和4年度 函館市文学館 文学のひとつとき 第1回

# 『久生十蘭』を22世紀まで読み継ぐために』

10/1

土

14:00～

函館市文学館 1F ラウンジ

函館出身の「小説の魔術師」こと直木賞作家・久生十蘭の文学は、新全集刊行や岩波文庫・河出文庫への収録などにより、文学ファンの間では近年急速に再評価が進みつつあります。その一方で、地元函館での認知度はまだ低く、特に若者への周知が課題となっています。そこで生誕120年に際して、あらためて彼の魔術の魅力を確認すると共に、それをまだ知らない方々に伝えていくアイデアなどについてお話しします。



## 講師プロフィール

長野県出身、筑波大学大学院を経て、現・北海道教育大学函館校教授。専門は日本近現代文学。函館に着任以降は長谷川海太郎(谷譲次・林不忘・牧逸馬)、久生十蘭、水谷準の函館中学中退3作家の研究に注力。十蘭関係の主要研究には、『函館時代の久生十蘭』(CCH 函館)執筆、『久生十蘭従軍日記』(講談社)翻刻・解説、『定本久生十蘭全集』(国書刊行会)新資料提供など。今年度は教育大生5名によるプロジェクトが、市内の図書館・書店・高校・カフェ、Wikipediaなどで十蘭の認知度UPのために活動中で、そのサポート役を務めている。

講師：小林真二氏 (北海道教育大学函館校 教授)

参加料：500円 (ざいだん友の会会員400円)

定員：30名 ※要事前申込み

申し込み・問い合わせ

函館市文学館 (0138) 22-9014

【主催】公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団